

豊野地区公民館・藤塚公民館

◇運営の基本方針

利用する人それぞれの心が潤い、かつ魅力あふれる事業を展開するとともに、地域文化の向上を図ることができる生涯学習拠点施設としての公民館を目指す。

◇重点施策

- 1 地域住民の学習ニーズを把握、各層を対象とした学習機会の充実と学習情報の提供を行う。
- 2 青少年の健全育成を図るため、学校週5日制に対応した各種事業を行うとともに、地域のボランティアや青少年の育成などの人材を活用したさまざまな学習を展開する。
- 3 地域・学校・家庭との連携、協力関係を深めるとともに、事業の企画段階からの市民参加を促進する。

◇重点事業

- 1 チャレンジ教室
- 2 必ず役立つ入門講座
- 3 子育てふれあいサロン
- 4 豊野地区体育祭・豊野地区文化祭

豊野地区公民館

所在地 〒344-0013 春日部市銚子口999番地
豊野市民センター内

T E L・F A X 048-735-0009

E-mail toyonokou@city.kasukabe.lg.jp



豊
野

藤塚公民館

所在地 〒344-0011 春日部市藤塚1670番地1

T E L・F A X 048-735-2528

E-mail fujitsukakou@city.kasukabe.lg.jp

職 員	館 長（兼務）	石 塚 晴 美
	主 査（兼務）	坂 巻 昇
	主 任（兼務）	大 川 裕 之
	主 任（兼務）	隅 田 松千代
	主 任（兼務）	白 石 益 幸
	主 任（兼務）	斉 藤 律 子
	主 任（兼務）	根 本 崇
	フルタイム（兼務）	小 堀 昭
	フルタイム（兼務）	下 妻 真 弓
	フルタイム（兼務）	大 野 麻須美



事業名 テーマ	サークル体験月間		対 象	一般		定 員	-	
ね ら い	豊野地区公民館・藤塚公民館のサークル活動の促進と利用の活性化を目指す							
協力機関 及び団体	事業にご協力いただけるサークル		特 色 位置づけ	サークルとの連 携		SDGs の 目標No	4.11	
会 場	豊野地区公民館・藤塚公民館		教 材 資料等	教材はサークルで準備				
実施まで の 経 過	5月17日(土) 参加申込書配布開始 6月 8日(日) 参加申込み締切 7月 1日(火) 公民館だより7月号に サークル一覧を掲載 7月下旬 館内にサークル一覧を 掲示		P R 方法	公民館だより7月号に掲載 館内にサークル一覧を掲示				
			受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
8月1日(金) ～8月31日(日)		体験月間 (豊野公) 体験月間 (藤塚公)	体験 体験			8 16	各サークル	
						24		
企画運営上 の 工 夫	館内の複数箇所に「8月サークル体験月間参加団体一覧」を掲示し、来館者の目につきやすいようにした。							
成 果 参加者の 声 など	公民館活動を知ってもらいよい機会となった。 参加団体16団体で24人の体験者がいた。							
課題と展望	各種団体の活動を活性化するための支援として、今後も続けるべきと考える。							

豊野地区 3

事業名 テーマ	子育てふれあいサロン		対 象	0歳～5歳児とその保護者		定員	5～10組
ね ら い	乳幼児の自由な遊び場として、また育児への不安や悩み、ストレスの解消のための保護者の交流・情報交換の場として開設する。						
協力機関 及び団体	更生保護女性会豊野支部		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の 目標No	4.11
会 場	豊野地区公民館 講堂・和室 藤塚公民館 大会議室・和室		教 材 資料等				
実施までの経過	順次、講師打合せ 事業内容確定後、開催周知		P R 方法	公民館だよりに記事掲載 子育て情報メール配信			
			受付方法	事前申込み制			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
5月15日(木)	10:00～11:30	わくわく！リトミック		1	1	2	リトミック講師
7月17日(木)	10:00～11:00	だっこフラ		1	1	2	フラダンス講師
9月18日(木)	10:00～11:00	親子ヨガ		1	1	2	ヨガ講師
12月18日(木)	10:00～11:30	クリスマス会		6	6	12	保育士
1月15日(木)	10:00～11:30	みんなで遊ぼう		4	9	13	リトミック講師
3月19日(木)	10:00～11:00	大きな絵本の読み聞かせと手遊び		6	5	11	庄和図書館職員
小 計	7時間30分			19	23	42	
4月25日(金)	10:00～11:00	大きな絵本の読み聞かせと手あそび		1	1	2	庄和図書館職員
6月27日(金)	10:00～11:00	みんなで遊ぼう		4	3	7	リトミック講師
8月22日(金)	10:00～11:30	ママヨガ&ベビーマッサージ		1	6	7	ヨガ講師
10月24日(金)	10:00～11:30	親子で楽しい♪リトミック		1	9	10	リトミック講師
11月28日(金)	10:00～11:30	「うたのコンサート」		0	7	7	主任児童委員
2月27日(金)	中止	折り紙でお雛様をつくろう		0	0	0	豊野折り紙サークル
小 計	7時間00分			7	26	33	
12回	14時間30分			26	49	75	
企画運営上の工夫	予約定員制とし、来場者（子供の年齢層など）を把握した。状況によっては、当日参加も可とした。 講師には事前に参加人数やこどもの年齢層を伝え、参加した親子が楽しめるプログラムを組んでもらい、実施した。						
成 果 参加者の声など	参加者からは、「いろいろな音楽にふれて楽しく過ごすことができました」 「親子で体を動かさせてよかったです」など、大変満足した、また実施して欲しいという意見が多かった。						
課題と展望	参加者が少しでも子育てに対する不安が解消できるような居場所の提供を心掛ける。						

事業名 テーマ	初心者向けの健康気功		対 象	一般		定 員	15名	
ね ら い	自由に健康気功を楽しめる機会をつくり、気功を通じて交流・親睦を深めるとともに、健康の増進を図る。							
協力機関 及び団体	導引養生功豊野クラブ		特 色 位置づけ			SDGs の 目標No	3. 4. 11	
会 場	豊野地区公民館 講堂		教 材 資料等					
実施まで の 経 過	7月31日 第1回打ち合わせ 1月29日 第2回打ち合わせ 5月 1日 講師依頼		P R 方法	公民館だより掲載				
			受付方法	事前申し込み制				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月17日（土）	13:30～15:00	初心者向けの健康気功	体験		10	10	気功講師	
6月14日（土）	13:30～15:00	初心者向けの健康気功	体験		7	7		
7月12日（土）	13:30～15:00	初心者向けの健康気功	体験		6	6		
8月9日（土）	13:30～15:00	初心者向けの健康気功	体験		5	5		
9月13日（土）	13:30～15:00	初心者向けの健康気功	体験		4	4		
12月13日（土）	13:30～15:00	初心者向けの健康気功	体験		5	5		
6回	9時間00分			0	37	37		
企画運営上 の 工 夫	全世代を対象にした講座を企画し、体験学習の機会を設けた。13:30～15:00に開催、途中休憩時間を取りながら行った。 豊野市民センターの中でも、とても人気のあるサークルの講師に指導いただいた。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	参加者は集中して真剣に、かつ楽しんで取り組んでおり、好評であった。 講座だけでは物足りなく、豊野市民センターで行われているサークルに入り活動を続ける受講者もいた。							
課題と展望	参加者によっては、難しい部分もあったのか、途中で来なくなった方もいたので、内容について再考することもある。							

事業名 テーマ	ふれあい教室		対象	一般		定員	講座により異なる
ねらい	地域に根ざした学習機会をつくると共に、参加者同士の交流を図ることにより、地域の連帯感を高めることを目指す。						
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員		特色 位置づけ			SDGs の 目標No	4. 11
会場	豊野地区公民館 藤塚公民館		教材 資料等	折り紙・台紙等			
実施までの 経過	順次、講師折衝 事業内容確定後、開催周知		PR方法	公民館だより掲載、館内ポスター掲示、チラシ配布			
			受付方法	各講座により異なる			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
7月30日（水）	13:30～15:30	サマーコンサート2025（藤塚）	鑑賞	7	100	107	市内の音楽家
9月 7日（日）	13:30～16:00	サマーミュージックフェスティバル	鑑賞	49	50	99	藤塚ウクレクラブほか
11月21日（金）	10:00～12:00	押花のカレンダーづくり	体験	0	16	16	サクラ草押し花クラブ
12月 4日（木）	10:00～12:00	和紙で干支の午づくり	体験	1	16	17	豊野折り紙サークル
12月19日（金）	13:30～15:30	X'masコンサート2025（藤塚）	鑑賞	8	102	110	市内の音楽家
1月22日（木）	10:00～12:00	楽しんで心の健康づくり	体験	1	17	18	日本レクリエーション協会公認指導者 ピアノ・ヴィオリラ講師
6回	13時間			66	301	367	
企画運営上の工夫	サマーミュージックフェスティバルは、公民館利用団体に出演を依頼し、日頃の学習成果を発表する機会となるようにした。また、近隣の高齢者福祉施設の入所者を招待した。 押花のカレンダーづくりと和紙で干支の午づくりは、受付開始時にチラシと見本を窓口に配架・展示し、参加者を募った。また、会場を1階講堂とし、高齢者が参加しやすいように配慮した。 藤塚公民館でコンサートを2回開催し、大勢の来場者にお越しいただいた。 楽しんで心の健康づくりは、日本レクリエーション協会公認指導者に講師を依頼し、満足度の高い事業となるようにした。						
成果 参加者の声など	サマーコンサート2025「知っている曲が多くとても楽しい時間でした」 サマーミュージック「ハワイにいる様な気分になりよかった」 押し花カレンダー「一年間 幸せがきますように 飾りたいと思います」 和紙で干支づくり「難しかったです、先生のお陰でできあげることができました」 X'masコンサート2025「とてもすてきな歌声で、元気をたくさん頂きました」 楽しんで健康づくり「全身がほぐれてすっきりしました」						
課題と展望	アンケート結果を踏まえ、満足度の高い事業となるよう、来年度も継続し実施していく。						

事業名 テーマ	チャレンジ教室 レクリエーションで体を動かそう		対 象	小学生		定 員	自由参加	
ね ら い	子どもたちと大学生のお兄さんお姉さんが接することで、普段交流のない年代と学ぶ機会を与える。また、今まで行ったことのない競技を体験することで、体を動かす楽しさを知ってもらう。							
協力機関 及び団体	共栄大学子ども教室サークル		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の 目標No	3. 4. 11	
会 場	豊野地区公民館 講堂		教 材 資料等					
実施までの経過	講師依頼 事前に講師打ち合わせ 公民館だよりに掲載 チラシを配布		P R 方法	公民館だより 7月号掲載 館内ポスター掲示、チラシ配布				
			受付方法	当日受付				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
7月26日（土）	9:30～12:00	かさぶくろロケット モルック 瞬間移動ゲーム	体験	30	22	52	共栄大学子ども教室 サークル 10名	
1回	2時間30分			30	22	52		
企画運営上の工夫	共栄大学子ども教室サークルの学生に講師にをお願いすることで、年代の近い大学生との交流となった。子どもたちにとって、とても、新鮮であったようであった。							
成 果 参加者の声など	普段接することの少ない大学生と、レクリエーションを通して楽しく参加できた。子どもたちは、年齢のそんなに遠くない大学生とのふれあいを楽しむことができ、楽しかったとの声が多数聞かれた。							
課題と展望	昨年の何かを作成するという講座でなく、体験の講座にしたが、子どもたちには好評で、同じレクリエーションを何度も挑戦する児童が何人もいた。来年度以降も、定員を設けずに、たくさんの参加者を募れる内容の講座としたい。							

事業名 テーマ	人権教育研修会		対 象	公民館利用団体		定員	50名
ね ら い	豊かな人間関係づくりを目指して、様々な人権について認識を深める。						
協力機関 及び団体	社会教育課		特 色 位置づけ			SDGs の 目標No	4. 10. 11
会 場	豊野地区公民館 講堂		教 材 資料等	視聴覚センター所有の人権啓発 DVD			
実施ま での 経 過	11月13日(木) 実施内容を決裁 1月 1日(木) 公民館だより1月号に 掲載 1月27日(火) DVD借用予約		P R 方法	案内通知 公民館だより 1月号掲載			
			受付方法	当日会場で受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月31日(土)	14:30～15:00	DVD 「みんな笑顔になる日 まで」 視聴	視聴	4	23	27	公民館職員
1回	30分			4	23	27	
企画運営上 の 工 夫	公民館利用者のつどいと同時に開催することにより、より多くの利用者に研修 へ参加してもらえよう配慮した。						
成 果 参加者の 声 など	障がいのある家族について取り上げた。参加者のアンケートでは「大変満足」 「おおむね満足」がほとんどを占めていたことから、人権について認識が深め られたと感じた。						
課題と展望	今後も様々な人権について、認識が深められる機会を創出していきたい。						

事業名 テーマ	第17回 健康を考えるつどい 「歩き」と「姿勢」が未来の身体をつくる！！「ホ・ハハハ」笑いヨガで心も体も元気に		対 象	一般		定員	150名	
ね ら い	健康でいきいきとした生活を送るため、日頃の健康管理について考える。							
協力機関 及び団体	共催：社会福祉協議会豊野支部		特 色 位置づけ	社会福祉協議会 と連携した共催 事業		SDGs の 目標No	3.4.11	
会 場	豊野地区公民館 講堂		教 材 資料等	レジュメ（講師用意）				
実施までの経過	7月17日(木) 社協豊野支部理事会で 実施内容を協議 8月21日(木) 社協豊野支部理事会で 経過報告、ポスター掲 示、チラシ配布依頼 9月 1日(月) 公民館だより9月号に 掲載		PR方法	公民館だより9月号掲載 館内ポスター掲示、チラシ配布 地区自治会にてポスター・チ ラシの回覧				
			受付方法	当日会場で受付				
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
9月25日(木)	13:30～15:30	1部 「歩き」と「姿勢」が 未来の身体をつくる 2部 「ホ・ハハハ」笑いヨガ で心も体も元気に	講演 体験	21	88	109	1部 春日部中央総合病院 2部 五十嵐 由美子	
1回	2時間00分			21	88	109		
企画運営上の工夫	共催団体の社会福祉協議会豊野支部と協議を重ね、今回は、「歩きと姿勢が未来の身体をつくる」また「ホ・ハハハ笑いヨガで心も体も元気に」をテーマとし2部構成とした。							
成 果 参加者の 声 など	「これからの健康維持に役立てていきたいと思います。」「大変良かったです。またこの様な機会が楽しみです」「笑いヨガはじめてでした。心から笑うことの大切さを感じました。」などの感想があり、大変好評だった。							
課題と展望	講演内容や講師を検討し、有意義なつどいにしていきたい。 実施にあたっては、公民館と社会福祉協議会とがそれぞれ役割を分担し、連携を密にして取り組んでいきたい。							

事業名 テーマ	令和7年度 豊野地区体育祭	対 象	地区内在住・在勤者	定 員	-		
ね ら い	地区内のスポーツの普及発展に努め、地区住民の健康増進及び親睦を図る。						
協力機関 及び団体	主催：春日部市・豊野地区自治会連 合会・豊野地区公民館・藤塚 公民館 主管：豊野地区体育振興会 後援：春日部市コミュニティ推進協 議会	特 色 位置づけ	重点事業	SDGs の 目標No	3.17		
会 場	藤塚小学校 校庭	教 材 資料等	プログラム・競技台本等				
実施まで の 経 過	5月18日(日) 市民体育祭実行委員会 6月15日(日) 正副会長及びスポーツ 推進委員合同会議 7月 5日(土) 第1回実行委員会 7月27日(日) プログラム作成委員会 8月24日(日) 賞品選定会議 9月14日(日) 第2回実行委員会	P R 方法	開催予告 公民館だより 9月号掲載				
		受付方法	地区対抗種目を除き自由参加				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計		合計
10月12日(日)	9:00～14:30	地区対抗種目 6種目 自由参加種目 10種目 アトラクション ・豊野中吹奏楽部 ・豊野地区民踊連盟 ・防災PRコーナー ・お楽しみ抽選会		1200	1100	2300	
1回	5時間30分						
企画運営上 の 工 夫	プログラムや参加人数を縮小することで、1時間以上早く終わることができ、各地区からの要望に応えることができた。 賞品選定会議で、種目ごとの分担を決めて賞品の選定、購入にあたり、参加人数が少なくなった分、賞品の充実が図られた。 「優秀な成績を収めた人の発表」として、豊野地区在住で県大会以上のスポーツ大会に出場して入賞した個人及び団体に表彰状と記念品を贈っている。						
成 果 参加者の 声 など	お楽しみ抽選会が好評だった。前日準備が中止になったが、体育振興委員の協力もあり、早めに集合し、準備を行った結果、ほとんど時間どおりに競技を行った。						
課題と展望	昨年までの課題であった、雨天順延ではなく中止、種目数も検討することで、従前の体育祭の内容から大きく変更した。今後は、この内容を精査していく必要がある。						

事業名 テーマ	三世代交流スポーツフェスティバル		対 象	小学生以上の市民		定員	-
ね ら い	地域に根ざしたスポーツの促進・普及及び市民の健康増進を図るとともに、三世代のきずなを深める。						
協力機関 及び団体	共催：豊野地区体育振興会 協賛：豊野地区民生委員・児童委員 協議会		特 色 位置づけ			SDGs の 目標No	3. 4. 11
会 場	藤塚小学校 校庭・体育館		教 材 資料等	スポーツ庁「新体力テスト」年齢別平均値一覧			
実施までの経過	10月25日(土) 検討会 11月29日(土) 役員会 1月17日(土) 実行委員会 役員事前研修会 2月14日(土) 前日準備		P R 方法	公民館だより1・2月号掲載 地区内自治会等にポスター掲示 公民館等でチラシ配布			
			受付方法	当日、自由参加			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月15日(日)	8:30～12:00	メインスポーツ 「Let's dancing」 スポーツギネス大会 大人も参加できる体力測定 コーナースポーツ	体験	160	140	300	宇南山 瞬子他1名 (スポーツ推進委員)
1回	3時間30分				160	140	
企画運営上の工夫	役員については、1週間前の事前研修、前日準備、当日と2週にわたる負担が大きかったが、関係者の負担を減らすよう、第2回実行委員会と事前研修を同日で行うことで、役員の負担を削減することができた。とん汁の具材等、費用が上がってきているので今後、調整が必要。スポーツギネス大会・体力測定に係わる役員に必ず、経験者を配置したことから、スムーズな運営ができた。とん汁配布については、過去の実績をもとに具材を調達した結果、ほとんど余ることなく調理できた。						
成 果 参加者の声など	スポーツギネス大会・体力測定に係わる役員に必ず、経験者を配置したことから、スムーズな運営ができた。とん汁配布については、過去の実績をもとに具材を調達した結果、ほとんど余ることなく調理できた。また、スポーツギネス大会・大人も参加できる体力測定・コーナースポーツとたくさんの、スポーツに触れ、「参加してよかった」「楽しかった」などの声があった。						
課題と展望	豚汁の具材、ガス代が値上げされ、弁当単価も上がってきていることから、来年度以降検討する必要がある						

事業名 テーマ	豊野地区文化連盟 サークル体験会		対象	一般		定員	-	
ねらい	豊野地区文化連盟会員によるサークル体験会を開催することにより、豊野地区文化連盟の周知を図るとともに会員同士の親睦をさらに深める。							
協力機関 及び団体	豊野地区文化連盟		特色 位置づけ	生涯学習		SDGs の 目標No	4. 11	
会場	豊野地区公民館 全館		教材 資料等	体験ブースにより異なる				
実施までの経過	4月26日(土) 文化連盟企画委員会 5月10日(土) サークル体験会代表者会議 6月 1日(日) 加盟団体あて開催通知 6月 1日(日) 館報6月号に記事掲載 6月27日(金) 前日準備		PR方法	公民館だより6月号掲載 館内ポスター掲示、チラシ配布				
			受付方法	当日、自由参加				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
6月28日(土)	9:00～11:00 11:10～13:10	芸術の部  芸能の部 	体験 体験	7	52	59	酒井書道・豊野俳句会・豊野折り紙サークル・サクラ草押花クラブ・春日部アート教室・ステンシル型染めフラカーネーション・フラワイキキ・フラココナッツ・豊連会・豊野地区民踊連盟・個人会員	
1回	4時間00分			7	52	59		
企画運営上の工夫	円滑に準備や運営を行えるように、企画委員会やサークル体験会代表者会議で豊野地区文化連盟会員相互による入念な意見交換を行った。 芸術の部と芸能の部を分けて実施することで各々の体験を行えるようにした。 食生活改善推進員協議会豊野地区の協力により、希望者に対しクッキーとコーヒーを販売した。							
成果 参加者の声など	豊野地区文化連盟会員同士の親睦がより一層深まった。参加団体を昨年度より3団体、参加者を昨年より74%増やすことができた。体験希望の一般参加者も来館し、さまざまな文化活動を体験する機会を提供することができた。							
課題と展望	豊野地区文化連盟は令和8年3月をもって解散したが、参加団体に今後も公民館を利用し続けていただくため、日頃の施設利用の促進に加え、公民館事業との連携のあり方についても各団体の特性をふまえて考究していく必要がある。							

事業名 テーマ	第51回 豊野地区文化祭		対象	一般		定員	-	
ねらい	公民館利用団体をはじめ、地区内の芸能・芸術団体の活動成果を発表する場として、また地域住民のふれあいの場として開催する。							
協力機関 及び団体	豊野地区文化連盟		特色 位置づけ			SDGs の 目標No	4.11	
会場	豊野地区公民館 全館		教材 資料等	プログラム等				
実施までの経過	7月30日(水) 参加申込受付開始 9月6日(土) 参加申込締切り 9月20日(土) 企画委員会 10月1日(水) 館報10月号に記事掲載(予告) 10月18日(土) 文化祭代表者会議 10月24日(金) 来賓招待状発送 11月1日(土) 館報11月号に記事掲載 11月2日(日) プログラム館内配架 11月8日(土) 前日準備		P R 方法	公民館だより 8月号参加募集記事掲載 公民館だより 10月号開催記事掲載(予告) 公民館だより 11月号開催記事掲載				
			受付方法	文化祭実行委員の受付・接待係が一般受付及び来賓受付を行った				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
11月9日(日)	10:00~14:30	芸能の部 芸術の部 体験の部 販売の部 軽食・クッキー・コーヒー販売 豊野中学校生徒俳句展	発表 展示 体験 販売 販売 展示	 芸能の部 発表		203	団体10、個人2 団体9、個人2 団体2 団体1 食生活改善推進員協議会豊野地区 生涯学習市民推進員	
1回	4時間30分					203		
企画運営上の工夫	参加団体から選出された実行委員が、受付・接待係、会場案内係、司会係、音響・進行係、抽せん会係を分担し、責任者を中心に自主的に文化祭の運営に当たった。 地元自治会子ども会(フラダンス・和太鼓)及び市内で活躍している個人(語り部)にゲスト出演を依頼し、舞台発表を多彩で魅力あるものにした。							
成果参加者の声など	企画委員会での協議をふまえ2団体1個人のゲストを招待した結果、大勢の来場者にお越しいただくことができた。芸能・芸術各1団体の新規の参加があった。来場者には熱心に舞台発表・作品展示をご観覧いただき、日頃の学習・制作活動の成果を発表することができた。体験・販売の部も盛況で、地域住民のふれあいの場として盛大に開催することができた。							
課題と展望	豊野地区文化連盟は令和8年3月をもって解散したが、新たに公民館主催の市民センターまつり(仮称)を開催するに当たっては、これまでの文化祭の実績を踏まえ、地域の特性を活かした事業内容を考究していく必要がある。							

事業名 テーマ	第6回 豊野キッズフェスタ		対 象	小学生以下		定 員	-	
ね ら い	地域子どもたちに楽しめる場を提供し、ものづくりなどの体験をとおして豊かな成長に寄与することを目的とする。							
協力機関 及び団体	食生活改善推進員協議会豊野地区、共栄大学子ども教室サークル、ボーイスカウト春日部第7団、春日部マジッククラブ、豊野地区文化連盟、更生保護女性会豊野支部、豊野中学校ボランティア部、生涯学習市民推進員			特 色 位置づけ	子どもの居場所づくり		SDGs の 目標No	4.11
会 場	豊野地区公民館 全館			教 材 資料等	プログラムにより異なる			
実施までの経過	6月 順次、講師打合せ 7月 1日(火) 館報7月号に記事掲載 7月 順次、講師打合せ 7月23日(水) 弁当注文(個数確定) 7月25日(金) 前日準備			PR方法	公民館だより掲載 館内ポスター掲示、チラシ配布 豊野小・藤塚小・牛島小全校児童あてチラシ配布			
				受付方法	当日会場で受付			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
7月26日(土)	9:30～12:30	ヨーヨー・スーパーボールすくい クッキーづくり体験教室 ロープむすびゲーム マジックであそぼう ちよがみで小もの入れづくり いけばなづくり	体験	30	22	52	更生保護女性会豊野支部 食生活推進員協議会豊野地区 ボーイスカウト春日部第7団 春日部マジッククラブ 豊野地区文化連盟会員 豊野地区文化連盟会員	
1回	3時間00分			30	22	52		
企画運営上の工夫	小学生に楽しんでもらえる事業とするため、教育学部をもつ大学の子ども教室サークルと市内のボーイスカウトに講師を依頼した。 日ごろ公民館で活動を行っている食生活改善推進員協議会豊野地区・豊野地区文化連盟会員に講師を依頼した。 新規の内容として、他館で活動しているマジッククラブに講師を依頼した。 子育てや生涯学習のボランティア団体・個人に協力を依頼した。							
成 果 参加者の声など	「大学生と遊んだことが楽しかった」「新しい遊びを知り、楽しかったです」「はじめてクッキーを作れて楽しかったです」との声が寄せられた。							
課題と展望	アンケート結果を踏まえ、小学生でも参加しやすく、満足度を得られるような事業を展開していきたい。							

事業名 テーマ	公民館だより「とよの」の発行		対 象	地区内全世帯		定 員	印刷部数 6,500枚 ※12月号より 6,300枚	
ね ら い	公民館事業の案内や報告、地区内社会教育団体の行事や会員募集記事などを掲載し、学習情報を提供する。作成にあたっては、公民館に親しみを感じてもらえる情報媒体とする。							
協力機関 及び団体	豊野地区自治会連合会		特 色 位置づけ			SDGs の 目標No	4・11	
会 場			教 材 資料等					
実施までの経過	毎月上旬 原稿作成 毎月中旬 原稿校正 毎月下旬 印刷 毎月1日 発行		P R 方法	市役所ホームページへ掲載				
			受付方法	掲載依頼記事は前月10日まで				
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
毎月		公民館事業の案内など A 4 判両面刷り						
12回								
企画運営 の工夫	毎月の発行にあわせて、公民館だよりの割付案の段階から職員で打合せをする機会を設け、案を出し合い、地域住民にむけてより見やすく、わかりやすい、魅力ある紙面づくりに努めた。							
成 果 参加者の 声 など	主催事業参加者へのアンケート結果によると、参加した方の多くが公民館だよりを見て情報を得たと回答しており、事業実施のうえで欠かせない広報手段になっている。							
課題と展望	来年度も、毎月発行を継続し、事業の開催時期に合わせた広報に努め、地域住民にむけて公民館に親しみを感じてもらえるような紙面づくりを心がけたい。							

豊野地区 17 【防災・防犯の拠点に関する事業（地区センター事業）】

事業名 テーマ	避難所開設訓練		対象	一般		定員	-
ねらい	災害に備え、避難所の開設がスムーズに行われるように、地域住民と一緒に災害時の受付や避難所設営を体験する。						
協力機関 及び団体	豊野地区自治会連合会 豊野地区災害対策協議会他		特色 位置づけ			SDGs の 目標No	4. 11
会場	①豊野地区公民館 講堂 ②豊野中学校		教材 資料等				
実施までの経過	危機管理防災課打ち合わせ 豊野地区災害対策協議会打ち合わせ 公民館だよりに掲載		PR方法	公民館だより7月号掲載 チラシ配布			
			受付方法	事前申し込み及び当日受付			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
8月1日（金）	10:00～12:00	備蓄品について考えよう 受付訓練 避難所開設訓練 （受付訓練）	講義 体験 体験	19	3	22	危機管理防災課職員 8名
11月22日（土）	13:00～15:00	講演 「カスリーン台風と豊野地区」 体験及び訓練 「地震体験・消火訓練・AED訓練」	視聴 体験	80	29	109	危機管理防災課職員 消防職員等
2回	4時間00分			99	32	131	
企画運営上の工夫	第1回は平日開催。これは、豊野災害対策協議会の訓練と差別化を図るため、平日に参加できる方を願います。（豊野災害対策協議会の訓練は休みの日に行っていることから） 第2回は消防にも協力いただき、ゆらりん体験、消火訓練、AED訓練を行った。						
成果の 参加者 声など	受付訓練は、危機管理防災課の職員から説明があったあと、自分たちで考え、行った。難しい点も多かったがその分、自分たちで考え、動くことができた。						
課題と展望	まだまだ、地区で災害を担当している方の出席が多いので、それ以外の方にも興味を持って参加してもらえようにしたい。また、災害はいつ起こるか分からないので、自分たちで考えて行動する講座にしていきたい。						